

を組織すべしと云ふので、先輩にも相談してタシカ明治四十一年の秋頃に飯塚先生後援會を組織したのであつた。之れを其後大正十五年頃の總會で三田柔友會と改め、更に會の事業の範圍を擴大して今日に至つたのであるから、本來の精神を忘れられては甚だ困る事になると考へ、茲に其の由來を書いた次第である。

一三 明治四十二年史

(一) 卒業生送別紅白勝負

二月二十一日午前九時開催、午後四時終了。

(紅)

(白)

(綬押込)

和氣律次郎

山田喜三

石原豪雄

岩田条藏

仲池唯謙

清水謙造(同綬)

店網信次

小池豊朗(綬)

吉田政助

大内義一(巴投)

(押込)

徳弘虎雄

大内義一(巴投)

(綬大外刈)

小口清美

西虎次郎

酒井萬馬

中川正郎

石田初之助

沈觀恒

伊井利一郎

河野久次郎

仁科久次郎(大内返)

長島政義(足拂合業)

近藤久

望月雄吉(足拂返)

(大外刈)

天津 義人

栗田 泰佐

山中 四郎

川口 治三郎

(同大外刈)

(?)

小澤 芳雄

橋本 誠

(押込)

尾崎 正文

齋藤 義臣

中屋 茂規

久保伊一郎

鄭 志源

和田 健一

(背負投)

小澤 健雄

神谷 嘉一

重久 廣一

(合業)

山本 忍己

倉成 龍之助

平賀 千代吉

(背負投)

細川重右衛門

中野 照治

村山 増太郎

(大外刈)

山下 幸男

藤井 金平

松宮 龜二

(背負投)

尾上 繁二

鎌田 政明

高橋 貞作

久留島 徵一

茂木 三千藏

(體落)

岩崎 尙武

下川 健太郎

設樂 哲夫

(?)

近岡 源三

(跳腰)

坂倉 德重

長塚 芳太郎

(背負投)

大矢知 基

池野 梅三

稻葉 茂

松崎 實

柳澤 德治

菅井 國之助

船越 宏

早川 重雄

中村 壯吉

吉岡 修治

香下 玄人

清水 耕作

五月女 光三

飯塚 茂

(合業)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

(?)

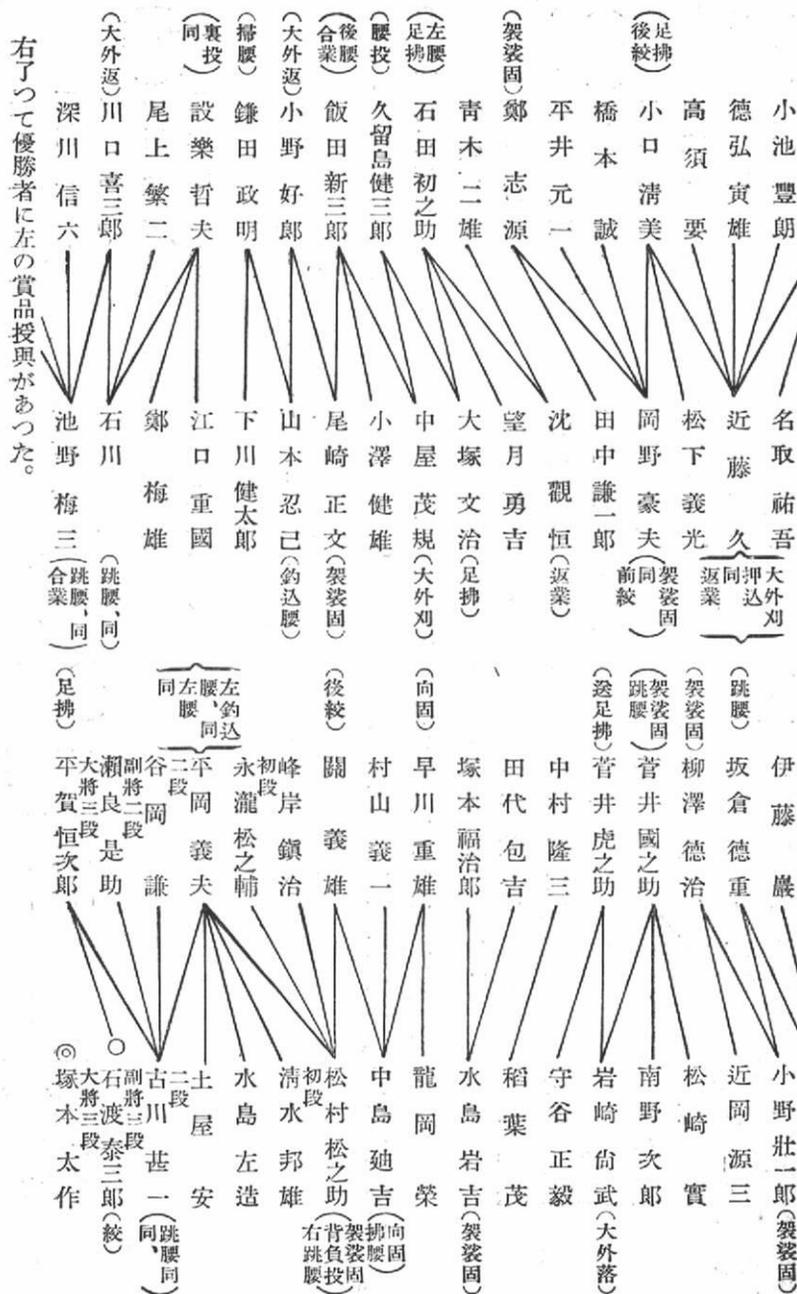


(二) 紅 白 勝 負

舉行の時日及び何の場合か不明なれども、双方三段を大将とする、大紅白勝負が勝負帳に載つてゐる。多分五月頃新入生歓迎の爲に催された勝負にあらざるか。表のみを見るも頗る興味ある對戦であつたと思はれる。

(紅) (白)





近衛歩兵第三聯隊寄贈置時計壹個宛

古川甚一、平岡義夫

松澤稽古着店寄贈稽古着一枚宛

松村松之助、山本誠一、近藤久

(三) 第十九回大會

十一月二十三日舉行。午前中紅白各々五十名づつの對戰と、五名づつ分れたる體育會各部幹事の紅白勝負とあり、午後より左の試合が催された。

(近)は近衛三聯隊、(三)は三田警察署、其他前例に據る。

(三本勝負)

(一) 〇(日) 土屋 學 慈 (大外返)

久留島 健三郎

(二) (高輪) 久保 三郎

伊藤 巖

(三) (青) 畑野 久

幸島 正路 (返業)

(四) (青) 大山 陽 一

福澤 駒 吉 (大外刈)

(五) (高輪) 日渡 守 三

須藤 政 秀 (大外刈 袈裟固)

(六) (講) 城島 庸 雄

南野 次 郎

(七) (早) 中島 進

小野 好 郎 (跳腰)

(八) (外) 瀧澤 二三郎 (腰投)

小山 泰 一 郎

(九) (錦) 日比谷 守之助

松崎 實

(一〇) (日) 三井龍堯(腰投)

(二〇) 設樂哲夫

(一〇) (早) 綿貫和夫(釣込腰)

(一一) 山本忍己

(一二) (錦) 福士繁吉

(一三) × 島泰次郎

(一四) (錦) 永島義高

(一五) × 富松覺

(一六) (近) 鶴岡(背負投)

(一七) (三) 幸田

(一八) (近) 藤岡

(一九) 高橋貞作(釣込腰)

(二〇) (美) 前田慶三

(二一) 坂倉徳重(拂腰)

(二二) (高商) 瀬戸幸三郎

(二三) × 下川健太郎

(二四) (東) 野村登志雄

(二五) × 海東要造

(二六) (一高) 宮野容吉

(二七) 岩崎尙武(魁落合業)

(二八) (高) 關根鐵藏(背負投)

(二九) 柳澤徳治

(三〇) (高商) 青木廉三

(三一) × 中田治稔

(三二) (附) 矢田部達郎(背負投)

(三三) 田代包吉

(三四) (高商) 田中仙太郎(大腰)

(三五) 坂本信吉

(三六) (附) 小川正朝

(三七) 守谷正毅(絞)

(三八) (日) 由比恵明

(三九) 船越宏(横四方釣込腰)

(四〇) (一高) 森規矩夫(左腰)

(四一) (二六) 龍岡榮

(四二) (講) 藤田龜造

(四三) 菅井國之助(左體落)

(四四) (中央) 竹内重盛(内股)

(四五) 土屋義雄

(四六) (早) 久保田清太

(四七) 菅井虎之助(背負投)

(四八) (附) 山本節民

(四九) × 稻葉茂

(五〇) (獨) 長瀬清

(五一) 徳永秀夫(合業)

(五二) (講) 金野房雄

(五三) 神吉英三(大外返)

(五四) (附) 吉武正雄(絞)

(五五) 中島勉吉

(五六) (講) 水島岩吉

(五七) × 早川重雄

(五八) (早) 中垣繁

(五九) × 塚本福治郎

(六〇) (高工) 多胡宇之助

(六一) 中村壯吉(押込)

則武貞吾
小西哲二(外掛)

(高工) 越野銀次郎
(四一) 高橋順之助(釣込足)

(早) 苦米地 貢(腰投)
(四五) 五月女光三

難波清人
吉岡修治

(深) 上原組介
(四二) 松村松之助

(早) 宮地久雄
(四六) 峯岸鎮治

石川寛
香下玄人

(講) 中元寺 轅(體落)
(四三) 清水耕作

(講) 眞山周太郎
(四七) 關 義雄(釣込腰)

中尾利治
村山義一

(講) 志村光治
(四四) 澤山福彌太(大外刈)

(高師) 山田雅助(左拂腰)
(四八) 伊豫田三郎

投之形
三段塚本太作
四段中野榮三郎

固之形
初段松尾恒四郎
二段古川甚一

勝負之形
三段塚本太作
三段石渡泰三郎

柔之形
初段永瀧松之輔
二段平岡義夫

五之形
四段中野榮三郎
四段平賀恒次郎

内田氏勝負之形
三段藤崎達磨
四段吉武吉雄

有段者勝負 (午後五時半より)

(帝大) 初段 中島 鵬 六
(一) 初段 金子忠之助

(講) 松永藤四郎(左跳卷)
(二) 水島左造

(講) 尾藤信祐(押込)
(三) 清水邦雄

(帝大) 村尾重孝
 (四) x 永瀧松之輔
 (講) 品田健仁
 (五) 江川定雄 (綾逆)
 (講) 松尾將次郎
 (高工) 横屋潤
 (六) x 坂井大輔 (横掛合)
 (高師) 多田省三
 (七) (東洋) 石光
 (講) x 平岡義夫

(高師) 佐藤
 (九) x 安達士門
 (明大) 齋藤四六
 (高工) 福田常雄
 (一〇) x (明大) 新莊巍
 (講) 鈴木鐵太郎
 (一一) x 松岡萬次郎 (跳腰)
 (高師) 谷岡謙
 (一二) 藤嘉三郎
 (講) 古川甚一 (跳腰)
 (一三) 古川甚一 (跳腰)

(高工) 宮部修
 (三四) 村上邦夫 (釣込腰)
 (高師) 德三寶 (體落)
 (〇〇) (高師) 中野榮三郎
 (一五) 宮川一貫 (不參)
 (早大) 平賀恒次郎
 (二六) 中 四段

(四) 雜記

幹事の更迭

精勵恪勤の氣性を以て、又俊鋭なる獨特の背負業を以て、久しく紫帯の牛耳を執り、後幹事として盡瘁せられたる大塚莊亮氏が今回卒業することとなりたれば、同じく紫帯の逸材永瀧松之輔氏が其後を襲ふた。

進級一括

○一月十日講道館鏡開式に於て

初段へ 水嶋左造、小原善次郎、清水邦雄、永瀧松之輔

二段へ 古川甚一、谷岡謙、盛田保三

○二月六日月次勝負の結果

二級へ 船越宏、早川重雄、吉岡修治、(以下幼年組) 田代包吉、塚本福治郎、三代川陸質郎

一級へ 澤山福彌太、清水耕作、香下玄人、村山義一、湯村藤助、關義雄、高橋順之助、松村松之助、小西哲二、松野

和夫、五月女光三、峰岸鎮治、(幼年組) 中村壯吉

○二月廿一日卒業生送別大紅白勝負の結果

二級へ 中嶋勉吉

○十月一日講道館秋季大紅白勝負の成績に依り昇段

初段へ 千葉強三

二段へ 作川信二郎